

思いやり

第 4 号

発行者

名農高生徒指導部
平成30年 5月18日(金)



マナーとモラル そしてルール part 1

「マナー」「モラル」「ルール」という言葉は皆さんも良く耳にしていることと思います。そのため「もう聞き飽きた」と思っている人もいると思いますが、もう一度改めて考えてみよう。

「マナー」の意味は『行儀、作法』といわれ、「モラル」は『道徳、倫理』のことで、そして「ルール」は『規則、きまり』となっています。それぞれは、切っても切れない関係にあり、道徳的な部分がきちんと守られることによって秩序が保たれているのです。

普段の生活の中で、お互いを思いやったり、チョットした気遣いがあれば人間関係が好ましい状態になっていきます。この「マナー」と「モラル」をきちんと身につけていない場合は、時として「ルール」によって指導（社会的には罰則も）されてしまいます。

学校や社会は**集団生活の場**です。ですから一人ひとりが同じ基準で行動しなければならないのです。「なぜ同じ基準なのか？」これは、君たちが『名久井農業高等学校の生徒である』という事実があるからです。服装・容儀指導を例にすると、各HRに「服装・容儀指導チェック項目」が掲示されていると思います。先生方も同じ基準で指導しているわけですので、**お互いが共通の判断**ができるのです。そこからはずれると指導されるわけです。これが「ルール」に該当するのです。指導される前に「自分でできること」マナーやモラルに該当する**行儀作法**についてよく考え、やって良いこと、悪いことをしっかり判断し、自分自身の身なりや行動に気を配ることが大切なのです。



チョットした気づかいが・・・

君たちは、家の人や友だちから「ありがとう」とか「うれしかったヨ」とか「これをやってくれて、とても助かったヨ」という言葉を何回となく聞いてきたと思います。（あまり言われたことがない人もいるかも・・・）でも、この言葉が言われて「いやだ」とか「うるさいなあ」などと思ったことはないはず。家の人や友だちのために、「役に立つことをやってあげる（手伝ってあげる）」ことは、とても素晴らしいことです。手伝ってもらった時は、とても嬉しく、「ありがたいなあ」と思うはず。この「チョットした気づかい」がお互いの信頼関係をより一層良好な関係にしてくれます。お互いが、安心して学校生活を送るために『今日からチョットした気づかい』を心がけてみては、いかがですか？きっと安心した雰囲気です学校生活を送ることができそうですヨ。



◆生徒の本分

学校を休まない・勉強する・きまりを守る